

ユダヤ人の王

2007年11月11日 アシュル・イントレーター

イエシュア(イエス)が十字架に架かった時、ピラトは主の頭上に罪状書を掲げました。そこには、「**ユダヤ人の王**」(ヨハネ 19:19、マタイ 27:37)と書かれていました。この罪状書には3つの言語で書かれていて(ヘブライ語、ラテン語、そしてギリシャ語)、世界中の人々がそれを知ることができるようにしてありました。この罪状書は神が定めたものであり(ヨハネ 19:22)、神のご計画の重要な側面を表しているとは私は信じています。それはまたこうも言うことができます。「**十字架の第二の目的**」

十字架の最初の目的は人類に救済をもたらすためでした。これは、イエシュアが十字架上で言われた、「父よ。彼らをお赦しください。」(ルカ 23:34)、「あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」(ルカ 23:43)、「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」(マタイ 27:46、詩篇 22:1)、「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」(ルカ 23:46、詩篇 31:5)に見ることができます。これらの声明は、赦しと憐れみを受け取るための神からの招待状でした。

一方、十字架上の書かれた声明は、主の権威と王国を宣言するものでした。最初の声明は赦しを与え、二つめの声明は服従を要求します。最初は罪を取り扱い、二つめは反逆を取り扱います。それゆえ、十字架の書状は**詩篇 2:2、2:6**を成就しました。「**地の王たちは立ち構え、治める者たちは相ともに集まり、主と、主に油そそがれた者とは逆らう。(詩篇 2:2)しかし、わたしは、わたしの王を立てた。わたしの聖なる山、シオンに。(詩篇 2:6)**」

「王」という単語は、政治的権力の最高の地位を表します。神は、ご自分の王国を地球上にうち立て、そしてこの人を、その政府の指導者にすると決められました。その政府は地球上全体に設立され、その首都はエルサレムとなります。これは国際的な帝国となり、イエシュアが皇帝です。

古代世界の王はまた、裁判長でもありました。裁判官の役割は誰が有罪で、誰が無罪であるかを決め、悪者を罰し、義なる人に報償を与えます。王はまた軍隊の総司令官でもあり、敵を滅ぼします。(この場合、イスラエルの敵**ゼカリヤ 12:9、14:3**)十字架上の書状は、イエシュアはこれらの役割を、再臨時に果たすという事を、世界中に示したのです。

皆さんはもしかしたら、神が、誰が主の統治者となるのかと発表する方法としては、奇妙な方法かと思われるでしょう。しかし、ここが重要な所なのです。神の権威の種類は世俗的な権威全体からして異なるものです。神の権威は愛であり、自己犠牲であり、他に仕えるものです。世界の権威のシステムは政治であり、利己的であり、他者を支配します。誰が政治的権威を受け取るかを決定するために、神は十字架によって、権力よりも、愛を高い価値のものとして定義されたのです。

しかし、神の統治には権力も伴います。神はその権力を、主の権威に従う者に与えられます。そのルールはイエシュアに対しても正しく適用され、私たちにも同じく適用されます。十字架はイエシュアのためのテストであり、主が服従するかどうかを見るためでした。十字架を通して、主はその権威を受けるに値する事を、ご自身

で示されました。それは、主が世界の支配者として適任であるかどうか、その品性をテストするものでした。主は合格したのです。

神がお選びになった王なるメシヤだと、イエシュアの死と復活が全ての人々に証明したのです。(使徒 10:42) –「このイエスこそ生きている者と死んだ者とのさばき主として、神によってさだめられた方」、(使徒 17:31) –「神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため(中略)そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの実証をすべての人にお与えになったのです。」神は、イエシュアが王である事を十字架の書状で宣言されました。そして、主を死から復活させた事によって、神の選択に対して確認を行ったのです。十字架刑はテストでした。復活はその証拠なのです。

それゆえ、十字架の道は、私たちの罪の贖いのためだけではありません。私たちがそれに従う例でもあるのです。それは私たちが服従し、イエシュアと共に権威を受けるパターンなのです。これがピリピ 2:5、8-9 の意味です。「あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちに見られるものです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。」

イエシュアの十字架での死は、私たちの負債を帳消しにするだけでなく、私たちが神のご計画に導かれたのです。それはマイナスを取り去ってゼロにして下さったのではなく、プラスを与えて加算して下さったのです。私たちが十字架に対して信じる時、私たちの罪は赦されます。もし私たちが自分の十字架を担いで主に従うのなら、私たちは指導力と権威に対する訓練を受けるのです。

主と共に私たちは支配し、君臨するのが神のご計画なのです。(誰かが言ったように、「冠を受ける前に、十字架を担がなくてはならない。」)そして、主に対する神のご計画は何でしょう。明らかに書かれていたように、「ユダヤ人の王」となるのです。ユダヤ人の王となるのはイエシュアの使命であり、主の願望なのです。

*注: イスラエル首相がどれぐらいの問題に直面しなければならないかを見たあと、誰がその仕事を担いたいと思っただろうかと私は思いました。実際、イエシュアは、群衆がイエシュアを王としようとした時、逃げ去りました。(ヨハネ 6:15)しかし、千年王国では、主はイスラエル首相と国連の最高指導者としての役割を担うことになります。*

### ヨハネ 18:37

そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王のですか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりです。わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に来たのです。(後略)」

イエシュアご自身には、計画、使命、人生の目的があります。その召命とはユダヤ人の王となることです。それが主の召命であるならば、私は、主がその召命を達成するため出来る限りの事をしたいと思います。結局のところ、主は私のいのちを救って下さいました。主に対して、それが、私のできる最低限の事なのです。それゆえに、私たちは救いの福音だけでなく、王国の福音も述べ伝えるのです。(マタイ 24:14) 主の最初の降臨

は、救い主である王として来られました。再臨時は、主は救い主となり王であり、王の中の王であり、そして、ユダヤ人の王として来られるのです。